

周作クラブ会報

(第29号)
2007年11月20日発行

周作クラブ

◆主な記事◆

- 第11回周作忌の集い (2面)
- 第2回遠藤周作研究会 (3面)
- 総会報告と原島の旅募集 (4面)
- 遠藤周作展(町田市) (6面)
- 宇宙棋院繁盛記・最終回(7面)

報告 — 第7回定時総会

今年度も楽しい行事や企画が盛沢山

会長以下、幹事や委員の大きな異動はなく、順調に推移

2007年9月29日、午後4時より、慶應義塾大学三田校舎内北館・4階会議室で、「周作クラブ」第7回定時総会が開かれた。出席者42名、委任状348通。予定されたすべての議案が審議、承認され、更に周作クラブの活動をめぐって活発な意見交換がなされた後、5時30分閉会した。

開会に当たって、加賀乙彦会長は「昨年は遠藤さんの没後10年の会を含めていろいろな行事が行われたが、今年はそのに比べると行事が少なかったように思う。しかし関ヶ原・神戸への旅行などを楽しんだ。今年度も周作クラブの精神を生かして、大いに楽しく遊びましよう」と挨拶。次いで岡田厚美さんが議長に選出され、議事進行となった。

●第1号議案—前年度事業報告(高橋千劍破幹事)
ちょうど一年前のこの日に行われた

「没後10年・遠藤周作さんをしのぶ会」や本年5月の遠藤文学原点の旅など、昨年9月から本年8月までに実施された全事業について報告、拍手で承認された。

●第2号議案—前年度会計報告(宮辺尚幹事)
会計報告に先立ち、前年度開始時(2006年9月1日)に399名だった会員数が、本年度開始時(2007年9月1日)には479名と、80名の増加を見たことが報告された。

収入は、前々年度からの繰越金を含めて3,218,328円、支出3,218,328円、今期への繰越金1,909,701円。内訳報告ののち、会計監査の光武喜代人さんの監査報告があつて、拍手で承認。

●第3号議案—役員・委員について(加藤宗哉幹事)
役員任期は2年なので、今年が改選期ではなく、加賀乙彦会長、黒井千次顧問、

加藤宗哉・高橋千劍破・宮辺尚の3幹事、光武喜代人・岡田厚美の2会計監査に変更はないが、会員管理委員の阿部さや子さんが退任され、代わりに樋口文子さんが総務委員から会員管理委員に移られること、新しく浦野真弓さんが総務委員に就任されることが報告され、承認された。



総会・この時点では会員の出足はもう1歩

●第4号議案—今年度事業計画(高橋千劍破幹事)
当日総会後に開かれる「周作忌」の案内に始まり、1月下旬の新年会、5月中旬の遠藤周作原点の旅および会報の発行予定などを発表、宮辺幹事より今年度も会員名簿の改訂版を発行することが提案され、合わせて拍手で承認された。

●第5号議案—今年度予算案(宮辺尚幹事)
収入予定3,541,011円、支出予定3,541,011円、予備費1,466,011円を発表、今年度から関西支部が独自の活動をする際の活動援助費として、支部メンバーのリスト提出を条件に、一人当たり500円分の通信費等事務費を支出することが提案され、拍手で承認された。

●第6号議案—関西支部報告(加藤宗哉幹事、代読)
横井勲関西支部世話人から届いた報告書を加藤幹事が代読、拍手で承認された。

●周作クラブ長崎の挨拶(高尾直子周作クラブ長崎代表)
東京の周作クラブと連動しつつ、文学館を盛り立てながら独自の活動をして行く予定なのでよろしく、と挨拶、拍手を浴びた。

●予定された議事終了後、会報について、ホームページ作成について、遠藤先生の映像化作品リストについてなど、自由に話し合った。

以上、詳細は8・9ページ参照。

(記・宮辺尚)

各委員は次の通り。
 <総務委員> 加藤宗哉委員長・今井真理・浦野真弓・大澤真里・亀岡園子・高田幸子・田村百合子
 <編集委員> 高橋千劍破編集長・金子コウ副編集長・山根道公顧問・岡田厚美・黒澤政子・近藤恭弘・矢内二正
 <会計・会員管理委員> 宮辺尚委員長・中村通子・樋口文子
 <関西支部・世話人> 横井勲